

課コード	001901	作成日	平成20年4月1日
所属名	農業水産課	作成者	内山 雅昭

政策名(上位目的)
地域特性を活かした産地力の強化
目の名称
農業振興推進費

分野	部	課	施策・事務事業	
計画コード	款	項	目 事項	
科目コード	26	01	11	46 31
(旧科目コード)	26	01	11	36 02

事業名			戦略性
地域間交流イベント(はままつ旬鮮市場!!)			
事業概要			
目的	(対象、意図、求められる結果)	開始年度	終了予定年度
浜松市の農林水産業を広く市民に紹介するため、市内の特色ある地域ごとに交流イベントを開催する。目的は、農林水産物の展示販売等により市内都市部の住民を周辺地域に呼び寄せ、都市と農村の交流・促進と広域となった浜松市の理解を深め、併せて、地域の活性化と農林水産業の振興を図ること。		平成 18	
		年	年
活動内容			
<p>交流イベントの開催</p> <p>1 名称 地域間交流イベント(愛称:はままつ旬鮮市場!!)</p> <p>2 主催 地域間交流イベント開催委員会(事務局:浜松市農林水産部農業水産課) 参加団体:浜松市、とびあ浜松・遠州中央・三ヶ日町農協、森林組合、漁協、酪農協等</p> <p>3 開催時期及び場所 平成18年度 平成18年12月10日(日)二俣公民館駐車場ほか(天竜区二俣町) 平成19年度 平成19年10月28日(日)北区役所駐車場(北区細江町) 平成20年度 平成20年11月2日(日)三ヶ日地域自治センター(北区三ヶ日町)</p> <p>4 開催内容 浜松市内の農林水産物の展示と合せ、販売等を実施(主に天竜区、北区など) 体験コーナー(木工クラフト体験、餅つき体験、丸太切り体験等) 浜松産農林水産物の料理試食会 地域特産物の景品つき'餅投げ'等</p> <p>5 運営(年間予算:約330万円) 収入 … 参加団体からの負担金、参加団体からの出店料等 支出 … 会場設営費(テント、ステージ等)、警備委託料、広告・保険料、試食等イベント材料費、消耗品等</p>			
事業の性格分類		実施根拠(法令、条例等)	新市建設計画事業
義務的・任意的事業			ワークショップ提案事業
			× ×
事業運営方法			
直営		一部委託	全部委託 補助等

		H17年度決算	H18年度決算	H19年度最終予算	H20年度当初予算	H21年度計画額	H22年度計画額	前期4年間計
事業費(千円)		0	2,500	2,500	2,500			
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	市債							
	受益者負担分(使用料等)							
	その他							
一般財源			2,500	2,500	2,500			
人件費		0	2,400	2,400	2,400			
内訳	人工	0.0	0.3	0.3	0.3			
	単価	8,000	8,000	8,000	8,000			
計	年間経費	0	4,900	4,900	4,900			
	受益者負担率	#DIV/0!	0	0	0			

性質別内訳		扶助費	公債費	物件費	維持補修	補助費等	積立金	投資及び出資金	貸付金	繰出金	投資的経費	公営企業
平成	人件費											
18	2,400					2,500						
19	2,400					2,500						
20	2,400					2,500						

定量評価						
指標1	単位	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
地域間交流イベントの入場者数 (目標数:15千人/年)	目標	千人	15	15	15	15
	実績	千人	10	20		
年間経費(事業費・人件費の合計)	千円	4,900	4,900	4,900		
単位当たり経費	千円/単位	490	245	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
単位当たり経費変動率	%		50.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

指標2	単位	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
	目標	千人				
	実績	千人				
年間経費(事業費・人件費の合計)	千円	4,900	4,900	4,900		
単位当たり経費	千円/単位	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
単位当たり経費変動率	%		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

定性評価	
過年度の実施内容	
平成18年度:第1回地域間交流イベント H18.12.10(日) 天竜区二俣町(二俣公民館駐車場) 入場者数 約10,000人 参加団体53団体 売上げ約220万円 単独開催	
平成19年度:第2回地域間交流イベント H19.10.28(日) 北区細江町(北区役所駐車場) 入場者数 約20,000人 参加団体32団体 売上げ約210万円 気賀関所まつりと合同開催	

事前評価	必要性	(分析・理由)
	A A 高い B ↑ C ↓ D 低い	地域間交流イベントを開催することは、合併し広域となった浜松市の特色ある地域に都市住民を呼び、相互の交流を促進することにより、地域の活性化と農林水産業の振興を図るために必要である。
事前評価	行政関与の妥当性	(分析・理由)
	A A 高い B ↑ C ↓ D 低い	市民に親しまれる農業の推進を図るには、静岡県、農業協同組合、農業者団体など各種団体との調整を取ることが重要なことである。そのためには、行政が主体的に取り組む必要がある。
事後評価	有効性	(分析・理由)
	A A 非常に有効 B やや有効 C あまり有効でない D 有効でない	地域間交流イベントを活用することは、消費者からの視点に立ち、親しみあふれる農業をPRするために欠かせないものである。
事後評価	効率性	(分析・理由)
	A A 単位当たり経費が前年比マイナス B 単位当たり経費が前年とほぼ同じ C 単位当たり経費が前年比プラス D 評価できない	地域間交流イベントを開催し、市民に親しまれる農業の推進を図ることは、参加する各種団体の振興につながり、しいては浜松農業の活性化と推進が図られる。

今後の事業展開		
規模		(分析・理由)
拡大	拡大・充実 現状のまま継続 縮小 廃止	都市と農村の交流を図ったり、地域資源及び農林水産物等のPRをすることは、今後も積極的にを行い、はままつ農業の推進を図っていく。

具体的な改善内容・事業の方向性等	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・浜松市全域の優れた地域資源の掘り起こしを行い、はままつ農業等の魅力を地域内外に発信し、交流人口を増加させる。</li> <li>・浜松市の地域間の連携を強化し、地域資源や農林水産物のPRを推進する。</li> <li>・消費者のニーズにこたえて、安心・安全で新鮮な浜松産農・水産物を供給する「地産地消」運動を推進する。</li> </ul> <p>(問題意識)</p> <p>市町村合併により広域となった浜松市における、大きなまつり(農林水産まつり)、中間のまつり、地域のまつりの内、地域間交流イベントは中間のまつりとしての位置付けで実施してきたが、政令市になり区単位でもまつりを開催する区も出てきた。開催時期、目的、内容については異なる点多々あるが、区のイベントと同規模のイベントであり、調整を要すると考える。</p> <p>(想定結果)</p> <p>市の実施が適当だが改善を要するもの</p>	

(備考)事業に対する市民・市民活動団体・事業者・議会からの指摘
---------------------------------